



学芸員が思いのままにつづる、ミュージアムのこと、日々の仕事のこと。
展示に直接携わる学芸員の言葉の中から、
ミュージアムをもっと楽しむヒントを見つけてください。

CHAPTER
9

東北福祉大学
芹沢銑介美術工芸館

学芸員 奈良 綾さん



多様な模様を創り、布や和紙に染め上げる型絵染の作家「芹沢銑介」。作品や人となりをより多くの人に知ってもらえるような企画を日々考えています。展示も仕事のひとつ。構想を練り、レイアウトを決め、作品位置を記した図を基に作業を開始。展示室では脚立を担ぎ、片手に巻尺を持って配置場所を確認します。次に続く作品を直接扱う作業は気が張るので、適度に休憩が必要です。上階のカップ式コーヒー自販機へ直行し、スタッフと交わす他愛のない(?)会話が、魅力ある展示空間を作るヒントになります。時に、思ってもいなかった問題点が生じて煮詰



私の展示作業には
欠かせません

まったとき、不思議とアイデアが浮かぶことも。展覧会が始まると、お客様からの言葉が励みになります。作品解説後に「分かり易い」「楽しかった」という感想をいただくと、新たなことをお伝えしたいと作品調査に奮起しますし、来館者アンケートの回答は、大切なご意見として毎日確認しています。東北福祉大学仙台駅東口キャンパス内にある当館は、気軽に入れる場所です。お客様の声やスタッフのアイデアを受けて、「気になる」→「見たい・もっと知りたい」→「誰かに伝えたい」という素敵な連鎖が生まれる美術館を目指しています。

直近のおススメ
イベント情報

「芹沢銑介の釈迦十大弟子尊像展」2020年1月11日(土)～4月3日(金)

休館日 ▶ 月曜日

開館時間 ▶ 10:00～17:00(入館は16:30まで)

SMMA
SENDAI MIYAGI MUSEUM ALLIANCE
仙台・宮城ミュージアムアライアンス

SMMAとは

知的情報資源である仙台・宮城地域のさまざまな博物館が協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを集積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指します。

WEBサイト 見験楽学 仙台・宮城ミュージアム情報局

SMMA参加館の学芸員をはじめ現場スタッフによるとっておきの情報や、地域のミュージアムならではの情報をお伝えします。地元のみならず、旅行で訪れた方々にもおおいに役立ち、楽しみながら発見や体験をしていただけるウェブページです。

www.smma.jp



発行・問い合わせ先: 仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局 仙台市青葉区春日町2-1(せんだいメディアテーク内)
電話: 022-713-4483 ファックス: 022-713-4482 電子メール: office@smt.city.sendai.jp ウェブサイト: https://www.smma.jp
編集/清水 テナツ デザイン/ANTWORKS イラスト/よしだみさこ 写真/長崎由幹 発行日/2020年3月4日 掲載した記事・情報は発行日の段階のものです。
この紙はリサイクルできます

2020 春号 見験楽学 便覧

WANTED!!!

ミュージアムをかたちづくる
「人」を大募集

仙台
ミュージアム
情報誌
SENDAI MUSEUM INFORMATION MAGAZINE
SHUN NO KEN KEN GAKU GAKU BIN



ミュージアム de ブレイクタイム

SPOT 東北大学植物園

貴重な原生林が残り、国の天然記念物にも指定された「青葉山」にある植物園。折々に芽吹き花開く植物や、野鳥のさえずりなどをたのしめます。冬季休園を経て、春分の日(3月20日)に開園します。

これからの
イベント 5月4日(祝月)
「みどりの日」無料開園



国 仙台市青葉区川内12-2
☎ 022-795-6760
園 9:00～17:00(入場は16:00まで)
休 月曜(祝日の場合は翌平日) ※3/19までは冬季休園
入 大人230円、小・中学生110円

春に見頃を むかえる植物

植物園では、開園とともに春の花が咲きはじめる、見頃をむかえます。園内を散策し、枝先に足もとに、あちこちにある春をみつけてください。

マンサク

2月中旬～4月中旬



セリバオウレン

3月初旬～4月中旬



カタクリ

3月下旬～4月中旬



ヒメシャガ

5月初旬～6月初旬



※天候などにより開花の時期は多少ずれることがあります

春の街も散策—東北大学植物園 近隣のおすすめ店

森の香本舗

元グラフィックデザイナーの店主がつくりだす、美しい生菓子。春夏秋冬で割り切れない、早春や晩秋など季節の移ろいが繊細に感じられるラインナップは、年間約50種。そのうち常時6種類が並びます

☎ 仙台市青葉区大手町5-5 ☎ 022-223-1314

園 9:30～18:00 休 月曜・第2、4日曜(※4月から毎週日・月曜休)



中央:羅馬(ローマ)324円 左上から時計回りに:希望(れいぼう)378円、菱葩餅(ひしはなばらもち)453円、早舟(はやふね)324円、絵馬(えま)378円、掬梅(くじうめ)378円

※生菓子の意匠は取材時のもの、時期によって種類や価格は異なります

かつどんのかつどん家

味やボリュームにこだわりながらも、リーズナブルにお腹を満たしてくれるアットホームなお店。厚切りロースカツ丼や梅じそ巻定食など豊富なメニューも魅力

☎ 仙台市青葉区大手町6-8 ☎ 022-264-5211

園 11:00～23:00(ラストオーダー22:30) 休 月曜(祝日の場合は営業)



梅じそ巻定食880円



SMMA参加館ゆかりの
人物にせまります。
人を知って、
収蔵品をもっと身近に、
もっと楽しく。

開館20周年を迎え感じる、 文学をとりまく環境の変化

若者の活字離れも叫ばれ、社会にしめる文学の意味が大きく変化してきているのを感じます。「文学」というと敷居が高いというイメージを持つ方がいらっしゃいますが、実際には、美術やマンガ、演劇などの他分野にも深く関わり、広く浸透しているものだと思うのです。当館では、そのような文学の幅や奥行きを、常設展や企画展で紹介していきたいと思っています。また、普段生活している仙台的な街も、縁の深い作家の視点を差し込むことで、時代や角度を捉えなおす眼差しが生まれ、別の表情を見せてくれます。これからも、時代を見据え、さまざまな趣向を凝らしながら、文学の意味を問いつづけていきたいと思っています。

震災からの年月で 醸成される言葉

東日本大震災直後、「文学」になにができるのかという問いを常に抱えてきましたが、それは、「文学」を仕事にしている自分自身を問うことでもあり、時として無力感も覚えました。でも、震災から9年という時間が流れたいまは、時間の経過とともに生まれる言葉があると実感するようになりました。言葉が醸成されるのには時間こそかかりますが、そのようにして紡がれた言葉は、一字一字を読むようにゆっくりと考え向き合うことの意味を教えてください。

あかま あき 赤間 亜生 (1966-)

仙台市生まれ。1997年から仙台文学館準備室に勤務し、資料調査・収集と、1999年の仙台文学館開館業務に携わる。2019年より同館副館長。これまで担当した主な展示に、開館記念特別展「夏目漱石展—漱石文庫の光彩—」(1999年)、「宮沢賢治展inセゾンド」(2004年)、開館10周年記念特別展「井上ひさし展—吉里吉里国再発見—」(2009年)など。



常設展「文学のゆかりご・仙台」より。仙台で学び、暮らした時期を経て、のちに文学の世界で活躍するようになった現代作家の新作を紹介



常設展「まんがの哲人・いがらしみきお」より。記憶をたどりながら描いた「うろおぼえ仙台」の原画や、震災後の津波襲来地の風景を描いた原画なども展示されている



常設展「震災と表現—あの日、以前。あの日、以後。」。東日本大震災を時間経過のなかで、作家、歌人、俳人たちがどのように表現してきたのかが一瞥できる

ここでもっと知る!

仙台文学館

☎ 仙台市青葉区北根2-7-1 ☎ 022-271-3020

園 9:00～17:00(展示室への入室は16:30まで)

休 月曜(祝日は開館)、祝日の翌日(祝日は開館)

7月・12月以外の第4木曜(祝日は開館)

入 大人460円、高校生230円、小・中学生110円 ※特別観覧料は別途

開催中の
展示

～4月5日(日)

開館20周年記念特別展「井上ひさしの劇列車」Ⅲ期